

年度評価シート

課名 子ども未来課

施設の名 静岡中央子育て支援センター	指定管理者名 (福)静岡市社会福祉協議会
1 履行状況	
年間を通して協定書（仕様書）及び事業計画書に従って、適切に履行されている。	
(1) 維持管理業務	
施設内の衛生管理・清掃業務や設備の日常点検等、仕様書に沿って適切な施設管理、良好な環境整備が行われている。	
(2) 施設利用者数	
【一時保育室】	
年間開設日数 362 日	
年間利用者数 6,816 人(前年度 6,196 人)、年間利用時間数 34,171 時間(前年度 29,901 時間)。	
新型コロナウイルス感染症流行前と比較すると利用者及び利用時間が減少しているが、令和2年度からは利用者数、利用時間ともに増加した。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、安全な保育環境を作り、安定した保育運営がなされている。	
【子育て交流サロン】	
年間開館日数 297 日	
年間利用者数は 21,618 人(前年度 18,424 人)、相談件数は 1,500 件(前年度 1,815 件)。	
新型コロナウイルス感染症流行前と比較すると利用者及び利用時間が減少しているが、大幅に減少した令和2年度からは利用者数、利用時間ともに増加した。相談件数については、令和2年度はコロナ禍による環境の変化等から件数が大幅に増加していたが、令和3年度は減少し例年と同程度に戻った。感染防止対策を徹底し、利用者の安全に配慮した運営がなされており、コロナ禍における利用者の不安に寄り添った相談支援の充実により、静岡市の子育て支援の中心となる施設として安定した運営がなされている。	
(3) 事業実施状況	
子育てに関する交流事業、相談事業、情報の収集や提供などについて、事業計画に従って適切に行われている。	
また、周辺の児童館等と連携を取り交流を図ることで、切れ目のない子育て支援の展開へとつなげている。	
子育てに関する講座等は 70 回以上(毎日、毎週開催しているものは含まない)行われるなど、多くの講座やイベントが定着し、魅力ある事業が展開されている。関係機関や地域との共同・交流事業のほか、子育てサークル等の育成・支援も行っている。	
さらに、市全体の子育て支援センターの中心としての役割を担っており、子育て支援	

関係者研修会について、清水中央子育て支援センターと連携し実施している。

主な事業は以下のとおり

入園説明会、ベビー体操、おはなしの会、歯科のお話し、ベビーリトミック等
子育て支援センター職員研修会開催、静岡市子育て支援センター連絡会開催等

(4) 職員配置状況、職員研修等

仕様書に基づき、最も利用者が多くなる時間帯において最低限下記の職員を配置している。

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ①所長 1人 | 指導員及び保育士等の管理者として、職責を果たせる者 |
| ②子育て交流サロン | 相当な知識及び経験のある指導員2人 |
| ③一時保育室 | 相当な知識及び経験のある保育士2人 保育士6人 |

- ・交流サロン・・・常勤・パートを含めて4名程度配置。現状安全で安定した運営を行っている。
- ・一時保育室・・・固定の預かりではないため日々個別対応が必要となり、配置の調整が難しいが急なシフト変更等にも対応し円滑に運営がなされている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

特にクレーム等もなく、日ごろから利用者の声を積極的に取り入れていく運営方法は評価できる点であり、今後も継続されることを期待したい。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

【一時保育室】

利用者満足度調査における調査項目のうち「非常に満足・満足」と答えた人は、①利用のしやすさ、②受付時の対応、③お迎え時の対応、④子どもの様子の全ての項目において100%という結果であり、多くの利用者に対し非常に満足度の高いサービスを提供していることがわかる。

また、当該施設の一時保育室を選んだ理由として「保育時間が利用しやすい」が18.5%次いで「立地が便利」が17.8%、さらに、「子どもが楽しく過ごせるから」が16.5%「公共施設で安心だから」が11.1%と、多くの利用者が施設への信頼と利便性を重視していることが分かると同時に、これまで培ってきた指定管理者の運営形態が市民にも評価される結果となっている。

【子育て交流サロン】

利用者満足度調査における調査項目のうち「非常に満足・満足」と答えた人は、①施設の設備99%、②あそびの環境が98%、③職員の対応と④講座・イベントの内容が100%という結果であり、多くの利用者に対し満足のいくサービスを提供していることがわかる。

利用者の自由記述においても、「子どもが楽しそうにしているので安心して保育室に預けることができる」「施設が広く安心して遊ぶことができる」等好意的な意見が多く、利用しやすい施設運営ができていくことが分かる。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については概ね適切な経理状況である。
今後とも効率的な経営に留意した上で、より充実した事業実施のための予算執行を望みたい。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務自己発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

全体的に良好な保育サービスの提供が行われている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少していることで目標値（年間利用者数：一時保育7,800人・子育て交流サロン47,400人）に届かなかったが、感染対策を徹底して施設運営をしており、利用者への丁寧な支援が行われ、業務は適正に実施できている。

業務においては、コロナ対策として利用時間や人数の制限、施設内の消毒等を実施し、安心・安全な施設運営に努めた。一時保育室・子育て交流サロン・子ども未来サポーター・ファミリーサポートセンターの4つの事業を運営するセンターであるという利点を生かし、各事業で連携・情報交換をし合うことで、コロナ禍で環境が変わり育児ストレスや様々な悩みを抱える親に対して支援ができるようにする等、指定管理者の創意工夫が見られた。

また、利用者に寄り添った声掛け・相談業務を行う等の丁寧な対応がされており、利用者満足度も非常に高い数値となっている。

今後においても、市民目線に沿ったサービスを心がけ、より質の高い保育サービスの提供の実現を期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。